

うまい米作りは健苗から!!

—— 肥料、有機質入培養土 ——

ニューラミックス



(JAにいがた南蒲センターの健苗)



三大特長

使いやすい

植えやすい

コストが安い

ニューラミックス培土 (製造)



(株)嵐北商事

焼土工場 新潟県三条市大字秋畑字ホフリ沢45
TEL (0256) 46-4734
FAX (0256) 46-5508
事務所 新潟県三条市秋畑
TEL (0256) 46-2192
FAX (0256) 46-4894

皆様の願いを満足させる!

ニューラミックス (嵐北培養土)

特 性

- 1) 天然土に高温殺菌処理をほどこし、活性炭(薫炭)を直接練り込み、これを造粒処理し、育苗用肥料、ピートモスを混入し、通気性・透水性・保水性・保温性にすぐれた使いやすい培土です。
- 2) ラミックス培土は根張りの良い良質なマット形成と、茎の太い健苗が出来上がる事が実証済みです。

〈成分〉

成 分	N チツソ	P リンサン	K カリ	苦 土
1箱当	1.5g	2.2g	1.8g	0.3g
備 考	○育苗培養土20kgで6~7箱の育苗が出来ます。			

使い方

- ニューラミックスは20kg入袋で6箱~7箱の育苗が出来ます。
- 消毒済みの育苗箱に2.0cm位の厚さに入れて下さい。
- 種初めの消毒、カビ、立枯れ病の予防は県の指導基準によって必ず行って下さい。
- ニューラミックスは保水性にすぐれておりますので床土面への灌水は控え目に行ってください。(1箱当たり1.2ℓ~1.5ℓ)
- 発芽時及び生育初期の培土の乾燥や過温は生育不良の原因になりますので、水分管理に注意して下さい。
- 水は苗の状態を見ながら均一に行ってください。初期成育中は午前早めにやって、午後は出来るだけさけて下さい。
- 育苗は農協営農指導員の指導、農業改良普及センターの指導に従ってください。

⚠ 使用上の注意

- 培土が乾燥すると、粒が崩壊する場合があります。
- 雨や直射日光を避け、高温にならない所に保管して下さい。
- 荷崩れが起こらないよう、十分注意して保管して下さい。
- 開封後は、全量使い切ってください。使い残りの土の品質は保証出来ません。
- 他の培土との併用はしないで下さい。生育不良の病害菌等の恐れがあります。
- 育苗作業は、地面等から病害菌等の侵入のない場所で行ってください。